

国立西洋美術館

国立西洋美術館（東京都台東区上野公園 7-7、館長 田中正之）は、1959 年の開館以来、広く西洋美術全般を対象とする唯一の国立美術館として、展覧事業を中心に、様々な活動を展開してまいりました。開館 65 周年を迎える 2024 年、当館では初となる現代美術展を皮切りに、これまで以上に多彩なプログラムを開催いたします。

国内外の優れた作品から成る企画展、松方コレクションをはじめとする所蔵作品の数々を紹介する常設展と小企画展、そして館内とオンラインで展開するプログラムを通じて、西洋美術の多様な魅力を発信してまいります。どうぞご期待ください。

■ここは未来のアーティストたちが眠る部屋となりえてきたか？

ウェブサイト : <https://www.nmwa.go.jp/jp/exhibitions/2023revisiting.html>

本展覧会は、中世から 20 世紀前半までの西洋美術作品を収蔵・展示してきた国立西洋美術館で、1959 年の開館以来初めての試みとなる、現代アーティストとの大々的なコラボレーションによる展覧会です。

国立西洋美術館の母体となった松方コレクションを築いた松方幸次郎は、日本の若い画家たちに本物の西洋美術を見せるため、膨大な数の美術品を収集しました。また、館の創設に協力した画家・安井曾太郎は、松方コレクションの「恩恵を受ける」のは誰よりも自分たちアーティストであるとの想いを表明しています。両者は、西洋美術館が未来を切り拓くアーティストたちの制作活動に刺激を与える存在となることを期待していたといえます。

[illegible]

本展では、そうした館設立の原点を見つめ直し、国内外で活躍する現代アーティストたちが西洋美術館の所蔵作品からインスピレーションを得て制作した作品や、美術館という場所の意義を問い直す作品など、多数の新作を通して、西洋美術館やそのコレクションが現存のアーティストをいかに触発しうるかを検証します。

参加アーティストだけでなく、展示室を訪れる鑑賞者とともに美術館の力を見つめ直し、館の新たな可能性を模索する意欲的な試みです。

■内藤コレクション

写本 — いとも優雅なる中世の小宇宙

会期：2024年6月11日（火）～8月25日（日）

会場：企画展示室

主催：国立西洋美術館、朝日新聞社

印刷技術のなかった中世ヨーロッパにおいて、写本は人々の信仰を支え、知の伝達を担う主要な媒体でした。羊や子牛などの皮を薄く加工して作った紙に人の手でテキストを筆写し、膨大な時間と労力をかけて制作される写本は、ときに非常な贅沢品となりました。華やかな装飾が施された彩飾写本は美術品としての評価も高く、数世紀にわたり人々の目を魅了し続けてきました。

当館では2015年度に、筑波大学・茨城県立医療大学名誉教授の内藤裕史氏よりリーフ（冊子からばらした個々の紙葉）主体の写本コレクションをご寄贈いただきました。この内藤コレクションはさらに、内藤氏ご友人の長沼昭夫氏のご支援も賜りつつ、2020年度にかけて拡充されました。

本展覧会は内藤コレクションを一堂に展示し、広くその内容をお披露目するとともに、国内外の専門家の協力のもと進めてきた作品調査の結果をご紹介します機会となります。展示は、内藤コレクションを中心に他機関所蔵作品も若干数加えた約150点で構成されます。聖書や時禱書、聖歌集をはじめ、中世から近世初頭における写本の役割をご紹介します、機能と結びついた彩飾芸術の美を堪能していただくことを目的とした企画です。

（巡回先：札幌芸術の森美術館 2024年9月7日～9月29日）



フランチェスコ・ダ・コディゴロ写
字、ジョルジョ・ダレマーニャ彩飾
《レオネッロ・デステの聖務日課書零
葉》1441-48年、彩色、金、インク/
獣皮紙、内藤コレクション 国立西洋
美術館

■モネ 睡蓮のとき

会期：2024 年 10 月 5 日（土）～2025 年 2 月 11 日（火・祝）

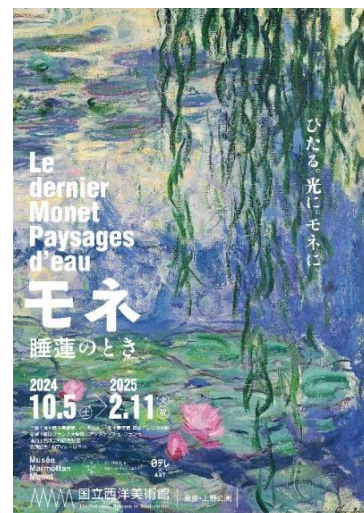
会場：企画展示室

主催：国立西洋美術館、マルモッタン・モネ美術館、日本テレビ放送網

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ

ウェブサイト：<https://www.ntv.co.jp/monet2024/>

印象派を代表する画家のひとりであるクロード・モネは、並外れた“眼”と鋭敏な造形感覚をそなえ、自然の移ろいゆく光と色彩を画布にとどめました。しかし後年になるにつれ、その芸術は自然観察に根ざしながらも、より抽象的かつ内的なイメージへと変容してゆきます。とりわけ、ジヴェルニーの自宅の庭に造成された睡蓮の池と、周囲の自然を幾重にも映し出すその水面は、晩年のモネにとって比類なき創造の源となりました。そして、この主題のみを表わした巨大なカンヴァスによって楕円形の部屋の壁面を覆いつくすという構想——のちの「大装飾画」プロジェクトが、1926 年の画家の死にいたるまで、数十年にもわたりその心を占めるのです。この果てしない試行錯誤の過程においてモネは、遠近法に基づく西洋絵画の伝統的な空間論理を根本から覆し、自然と人、絵画と鑑賞者をめぐる、あらたな関係性を追求することになります。



本展覧会は、パリ、マルモッタン・モネ美術館のコレクションおよそ 50 点に加え、松方コレクションをはじめとする日本国内所蔵の作品によって構成され、「大装飾画」の制作過程で生み出された〈睡蓮〉作品群のほか、モネ晩年の芸術の豊かな展開をご紹介します。

（巡回先：京都市京セラ美術館 2025 年 3 月 7 日～6 月 8 日、豊田市美術館 2025 年 6 月 21 日～9 月 15 日）

小企画展

■真理はよみがえるだろうか：ゴヤ〈戦争の惨禍〉全場面

会期：2024 年 2 月 27 日（火）～5 月 26 日（日）

会場：新館 版画素描展示室

主催：国立西洋美術館

ウェブサイト：<https://www.nmwa.go.jp/jp/exhibitions/2024goya.html>

〈戦争の惨禍〉は、スペインの芸術家フランシスコ・デ・ゴヤ (1746-1828 年) が制作した版画集です。1808-14 年に戦われたスペイン独立戦争に取材し、戦いの光景やその中で苦しむ民衆の姿、そして政治風刺を主題としています。ゴヤは、フランス軍の暴挙に対するスペイン民衆の抵抗という図式を超え、戦争という非常事態に生み出される様々な暴挙や愚行を驚くほど冷静に、かつ仮借なく捉えました。人間の抱える深淵なる闇の世界を抉り出している点で、時代を超越した普遍的なメッセージを放つ傑作といえるでしょう。本展では、連作全点と関連未発表作 2 点を合わせた計 82 点を一堂に披露、版画集の全像をご紹介します。



フランシスコ・デ・ゴヤ〈戦争の惨禍〉より 80 番《彼女はよみがえるだろうか？》

1814-15 年頃 エッチング、バーニッシャー
／紙 国立西洋美術館

■西洋版画を視るーリトグラフ：石版からひろがるイメージ

会期：2024 年 6 月 11 日（火）～9 月 1 日（日）（予定）

会場：新館 版画素描展示室

主催：国立西洋美術館

■松方旧蔵、20 世紀イギリス作家の素描・版画類（仮題）

会期：2024 年 9 月 14 日（土）～2025 年 2 月 11 日（火・祝）（予定）

会場：新館 版画素描展示室

主催：国立西洋美術館

常設展

■コレクション・イン・フォーカス

開催期間：2024 年 2 月 27 日（火）～2025 年 2 月中旬予定

会場：本館 2 階・新館 1 階

2022 年春のリニューアルオープン以来、常設展の展示に少し変化を加えました。日本で唯一、西洋絵画史の流れを概観できる場としての枠組みを維持しながらも、随所に所蔵品による小規模な展示を組み込み、とりわけテーマ性の高いものを「コレクション・イン・フォーカス（Collection in FOCUS）」と名付けて、解説パネルとともに展示しています。本年度は、まず下記 2 つのコーナーを設け、その後もコーナーを追加の予定です。これらを通じて、所蔵作品に関するより詳細な考察や調査研究の成果、そして作品同士の新たな対話をご堪能ください。

Collection

in

FOCUS



2023 年度より、「絵具層の下に隠された下描きを視る」
（本館 2 階）の展示風景

各展示タイトル（展示場所）

2024 年 2 月 27 日（火）より展示予定

- ルドヴィーコ・カラッチ《ダリウスの家族》初公開（本館 2 階）
- 印象派と室内装飾（仮題）（新館 1 階）

※展示内容は今後追加や変更されることがあります。詳細は順次ウェブサイトに掲載予定です。

■教育普及プログラム

多くの方々に美術・美術館に親しんでいただく機会を創出し、様々な対象に応じた学びを提供するため、多様なプログラムを実施しています。

館内でのプログラム

- 美術トーク
- 建築ツアー
- 講演会・シンポジウム
- ギャラリートーク・スライドトーク
- ワークショップ・体験プログラム



※上記のほかにも各企画展やクリスマスなど季節にあわせた各種プログラムを開催予定です。子供・ファミリーや学校、障がいをお持ちの方を対象としたプログラムも多数実施しています。各プログラムの詳細はウェブサイトでご確認ください。

一般向けプログラム：

<https://www.nmwa.go.jp/jp/experience-learn/public.html>

子ども・ファミリー向けプログラム

<https://www.nmwa.go.jp/jp/experience-learn/family.html>

学校向けプログラム

<https://www.nmwa.go.jp/jp/experience-learn/school.html>

国立西洋美術館公式 YouTube チャンネル

当館の公式 YouTube チャンネルでは、所蔵コレクション・作品、展覧会を紹介する動画を配信しています。当館について深く知る、展覧会の予習・復習など、様々な目的に応じて気軽に楽しんでいただけるラインアップです。ぜひご覧ください。



➤ 国立西洋美術館 公式 YouTube チャンネル @NMWATokyo

<https://www.youtube.com/channel/UCFtBgJ1ArMLvcpQeT2vNupQ>



※上記内容は 2024 年 1 月現在の予定です。展覧会やプログラム名、会期などは変更になる場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

■国立西洋美術館常設展パスポートチケット

2024年3月1日（金）より「国立西洋美術館常設展パスポートチケット」を販売いたします。本チケットで常設展を有効期間中何度でも観覧でき、ミュージアムショップ（企画展の特設ショップを除く）とレストランで割引のサービスが受けられます。

松方コレクションや橋本コレクションなど常設展内の作品だけでなく、小企画展もご覧いただけます。本年は当館所蔵作品の中でも特に人気の高いポール・シニャック《サン＝トロペの港》をあしらったデザインです。



【販売場所】 国立西洋美術館券売窓口

【販売開始】 2024年3月1日（金）

【有効期間】 ご購入当日～2025年3月30日（日）まで

【販売価格】 1,300円（税込）

【優待サービス】 ミュージアムショップ（※）およびレストラン（CAFÉ すいれん）にて3,000円（税込）以上のご利用で5%割引

※一部の商品は割引対象外（詳細は直接ショップにお問い合わせください）

■報道関係お問い合わせ先

国立西洋美術館 広報事務局

株式会社ユース・プランニング センター内

TEL：03-6821-8229 E-mail：nmwa@ypcpr.com

受付時間：平日 10：00～18：00 ※土日祝日・年末年始等の対応はしていません。

下記展覧会のお問い合わせ先は各広報事務局になります。

「ここは未来のアーティストたちが眠る部屋となりえてきたか？」

広報事務局（ユース・プランニング センター内） 担当：大山、片山、池袋

TEL：03-6821-8229 FAX：03-6821-8869 E-mail：65years@ypcpr.com

受付時間：平日 10：00～18：00 ※土日祝日・年末年始等の対応はしていません。

「モネ 睡蓮のとき」

広報事務局（株式会社 OHANA 内） 担当：妹尾・細川・津久井・山下

E-mail：monet2024-2025@ohanapr.co.jp

受付時間：平日 10：00～17：00